とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年7月11日(金)
クラス名(年齢)	たんぽぽ組(2歳児)
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

・影を楽しもう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・水遊びをしていた時に水が反射した所に友達の影が映っていることに気が付いたので、クラスでも影で遊び、楽しめるかと思いこのテーマにした。

2、活動スケジュール

・保育室の日差しが差し込む場所で、保育者が井形ブロックなど影が分かりやすいものを映して見せる。
・どうしたら影が映るか試しながら一緒に楽しむ。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・日差しが差し込む場所を広く確保する
・井型ブロックや指人形など

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・保育室の日差しが差し込むスペースで行う。
・井形ブロックや指人形を用意し、保育者が影を映して見せる。
・自由に影を映してみる。難しそうな時には保育者が手を添えて、一緒に影を映して楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・子どもが「キラキラしてる」と水が反射して天井に映し出されていることに気付いた。保育者が驚きどこから反射してるか確認すると、今度は一緒にいた子どもの影が映り「T君だ！」と影が映っていることにも気付いた。 ・影に興味が持てるよう保育室の日差しが差し込む場所で保育者が井形ブロックを使って影を映して見せた。「同じだ」と、ブロックの影が映っていることに興味を示し、自分でもやってみようとする様子が見られた。 ・「あれ～？できない」などと言いながらも、場所を変えたり玩具を変えたりして影を映そうとしていた。様子で保育者が手を添えながら映るようにした。また、自分の影が映ることにも気付き、映った時にはとても喜んでいた。手を振るなどして楽しんでいた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・ブロックや指人形は日差しが当たる角度によっては影の形が変わってしまうので、きれいに「同じ形」を映そうと考えている姿が見られた。保育者が手を添えて角度を変えると、色々な影が映ることが分かり自分で動かしていた。「できない」と投げ出すのでなく、どうしたら良いのか考えている姿に成長を感じた。なかなかうまく映らず飽きてしまったり、ブロック遊びになってしまったりとまだ理解が難しい様子も見られた。涼しくなったら戸外で色々なポーズの影を映したり、影踏みなどで楽しんでみようと思う。